



# デジタル未来推進 P T



デジタル未来戦略策定に向けて  
令和4年度最終報告





# デジタル未来推進 P T の歩み

時期	活動概要	PT開催
～ R 3 年度	市民アンケートなどの結果をもとに、今治市のデジタル化に関する課題を検討	
R 4 6月	キックオフミーティング（愛称の検討→「ミライマバリ」）	1回
7月 ～8月	P Tによる基本戦略案の磨きこみ	2回
9月	基本戦略（案）の策定、パブリックコメントの実施	1回
10月	<b>事業者ワークショップ</b> の開催 デジタルソリューション勉強会	1回
11月 ～12月	P Tによる実施戦略案の磨きこみ	2回



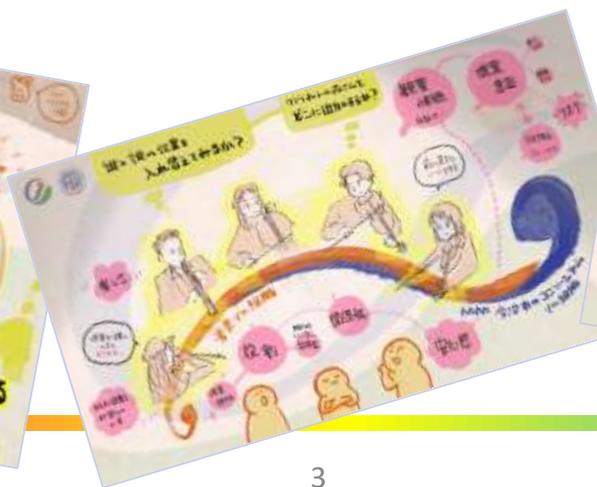
# コンソーシアム形成に向けて



10月17日（月）

市内外のデジタル関係の事業者7社と、PTメンバー6名＋関係課職員でワークショップを開催しました。  
（計26名参加）

コンソーシアムの意義や位置づけについて意識を共有し、今後の活動の基盤づくりを行いました。





# デジタル未来戦略（概要版）

2022年度「今治市デジタル未来戦略策定事業」

**ミライマバリDXプラン 概要版**

—今治市デジタル未来戦略—

／ミライマバリ／

今治市のデジタル未来戦略のキッカケフレーズは「ミライマバリ」です。  
これはミライ mirai + mabari(マバリ)の略称です。  
DXは目的ではなくあくまで手段であり、考えるべきは今治の未来です。  
その未来に向けて考えていく活動を、シンプルに分かりやすい言葉で表現しました。  
[「市民」を「今治」の「未来」を語る際の真ん中に据えて、取組み姿勢とアクションを体現しています。  
市役所内の部署間で連携することらと、市の事業者様、市民の皆さんと連携することで、  
日本のどこにもない、あたたかみのあるDXを今治市で実現していきます。

デジタル未来戦略の基本方針

【コンセプト】

人に寄り添う日本—アナログなDX

【実行方針】

「市民が真ん中」になる活動、  
時間を生み出す「しない」DX

【実行成果】

誰もが住み続けたい「心地良さ」「便利」

関係指標—シビックプライドを示す居住・居住推進意欲の向上

↓

方針に沿って基本理念を実現するために、以下の3つを進めています。

Q

**コンソーシアムの形成**

- 新しく参画したい企業、組織と共に「仲間づくり」できる活動
- 新しい今治市を育てるためのコミュニティをデザイン

Q

**アジャイル型**

- 計画を立ててその通りに実行していくのではなく、  
勉強会・プロトタイプを重ねながら改良していく

Q

**活動過程の広報  
(プロレスポンスデザイン)**

- 経過を見せることで、仲間づくりのスピードを速める

2022年度「今治市デジタル未来戦略策定事業」

4

imabari-city



# デジタル未来戦略（概要版）

## 市民生活のDX

「市民が真ん中」の視点で市民や企業が  
 主役となる暮らしをつくります。  
 やめるべきことをやめ、  
 やるべきことを高度化します。

健診や予防接種などの子どもに関するデータを関係機関が連携して活用し、  
 妊娠、出産、就学まで切れ目のない情報や支援をします。  
 また時間や場所にとらわれない相談体制を整備し、安心して子どもを育てられる環境を整えます。  
 そして、誰もがデジタルの恩恵を受けられるよう、環境の整備を進めるだけでなく、  
 デジタルが苦手な方へのサポートを行います。  
 またデジタルの普及とそれ自体を、高齢者と若者や移住者など、  
 属性を超えた交流を生み出すきっかけにしています。  
 加えて健診データや医療データに基づいて、AIが適切な食事、運動、睡眠を提案し、  
 日常生活における生活習慣病予防や健康づくりを促します。  
 また、介護や福祉の現場でもIoTによる見守りや人感センサーなどの導入を通じて、  
 介護者の負担が軽減されるようにします。



02

## ミライマバリアクション

【施策】

- 1 子どもを守り育むICTネットワークによる切れ目のない支援(3歳までeOX)
  - LINEチャットなどを活用し、オンラインで24時間子育ての相談を可能に
  - AIを活用し、子どもひとりひとりに合わせた緩やかな発達支援
  - 子育てアプリを活用し、健診や予防接種などの情報を成長にあわせてプッシュ型で通知

【施策】

- 2 誰一人取り残されないデジタル社会の実現(デジタル・ディバイド対策)
  - SNSを活用した、ICTに親しむイベントの開催
  - 公衆Wi-Fiの拠点整備、高速インターネット回線の敷設推進中!
  - 公民館・郵便局にスマホ教室・スマホ相談窓口を開業中!



【施策】

- 3 デジタルが育める健康といつまでも自分らしい暮らし(健康・医療・介護のDX)
  - 健康アプリや健康ポイントを活用して、個人の健康づくりを推進
  - 健診データ・医療データ連携による市民の健康促進
  - e-スポーツを通じて、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現
  - デジタル技術で要介護者を減らす「スマート福祉」を導入し介護現場の負担を軽減!

「ミライマバリアクション」は、  
 国のデジタル未来戦略(2024)を  
 実現しています。

※ 関係機関(市アリアや等)と4年ごとで実施している「i-imabari」によるものです。  
 ※ 検討中・予定中。まだ具体的な内容ではないが、検討した内容を掲載しているもの。  
 ※ いは、独自で実施するものも含みます。  
 ※ 試行導入し、検証結果を踏まえて導入していくもの。効果が確認できたら本格導入するもの。  
 ※ 実施中・導入中。既に一部で実施しているもの。今後の展開、拡充が予定されているもの。

03

# デジタル未来戦略（概要版）

## まちづくりのDX

市役所から先端的なDX行政を取り入れ、  
この発想があったかというみんなに見せたい  
DXまちづくりのミュージアムを目指します。

美し♪部と陸地部にはたがる広い市域は、  
今治の暮らしを考えると大きな課題です。  
デジタルを活用し距離の不便を感じない、  
実現「ゼロ距離」生活を目標します。  
また、リモートワークやワーケーションなど、  
新しいスタイルで働きたい「転職なき移住者」や  
「多拠点居住者」にとって魅力的な環境であることを  
アピールして、移住者を多様な形で迎え入れます。



## ミライマバリアクション

①

しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現（生活圏のDX）

- 陸地部と島し♪部をライブでつないで、コミュニケーション促進や健康づくりに活用
- 自動運転やドローンを移動や配送に使う、生活をもっと便利に
- 市役所の支所と本庁をオンラインで接続し、身近な窓口で複雑な手続きや相談が可能に！

②

心地好く「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先地域に「住移mix」

- オンライン移住ツアーやバーチャル移住体験、方言の魅力なども盛り込む
- 独自ポイントや地域通貨の導入も検討
- ワーケーションのモデルツアーを実施し、ガイドブックを作成！
- オンライン移住相談会、随時開催中！  
「いざばり暮らし」ホームページで移住情報を発信中！



「しまなみ海道」は  
道の駅や観光施設を  
活用しています

● 情報提供「ライブアサナ」で人と人とをつないでいる（まだサービス中）  
● 施設や「観光」上の具体的な情報ではないが、観光した情報収集しているもの。  
● あるいは、各自で自分で調べが基本のことで  
● 試行導入、実証実験や「試行版」を導入してみたり、実施が可能な状況で試しているもの。  
● 実施中「進行中」既にモデル施設などで実施しているもの、今後の展開、試行が完了したもの。



# デジタル未来戦略（概要版）

## 行政のDX

デジタル・アナログにこだわるのではなく、  
住民対応のクオリティを高め、  
人と人とのつながりをより大切にするための  
手段としてDXを活用します。

24時間いつでも、どこからでも手続きできるオンライン市役所や、  
一つの窓口で手続きが完結するワンストップ化を目指します。  
そのために、まずは行政事務の整理化を行います。  
このため業務プロセス自体の見直しからはじめ、  
どうしても欠かせない事務処理の自動化、省力化を行います。  
デジタル化そのものを目的とするのではなく、時間のかかる義務的な  
仕事を減らすことで、窓口対応など人にかかわる業務に注力し、  
あたたかみのある市役所を目指します。



06

## ミライマバリアクション

【施策1】

1

時間や場所にとらわれずワンストップで  
サービスが受けられる市のひろ市役所「ほろまちe窓口」

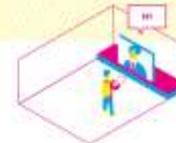
- 行政手続きの順次オンライン化、ペーパーレス化
- AIチャットボットによる24時間問い合わせ対応
- 市民課にて「おやすみコーナー」「書かない窓口」「待たない窓口」実施中!

【施策2】

2

業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営（業務効率化DX）

- RPAにより業務を改善、職員によりよいサービスのための余裕をつくり出す
- オンライン申請により住民の利便性を高め、かつ、ペーパーレス化を促進
- RPAによる業務の自動化、順次導入中!



【ミライマバリアクション】は  
市のデジタル戦略の中心を  
据えています

- 業務改善（アイデアや案）に込められた思いを（広く市民にも共有する）
- 検証中・検証中（まだ具体的な内容ではないが、検討している段階）
- 実行中、実施中（具体的な業務が実行されている）
- 試験導入（検証実験）試験的に導入して、市民が実際に利用しているもの
- 実施中（業務が、既に市民が実際に利用しているもの、今後の展開、拡充が予定されているもの

07



# デジタル未来戦略の実現に向けて

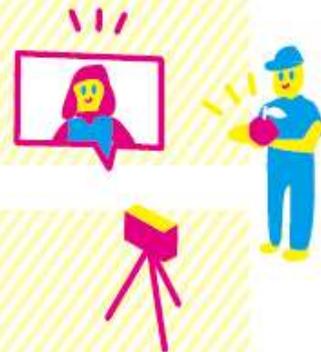
方針に沿って基本理念を実現するために、以下の3つを進めていきます。

## コンソーシアムの形成

- 新しく参画したい企業、組織と共に「仲間づくり」できる活動
- 新しい今治市を考えるためのコミュニティをデザイン

## アジャイル型

- 計画を立ててその通りに履行していくのではなく、勉強会・プロトタイプを重ねながら改良していく



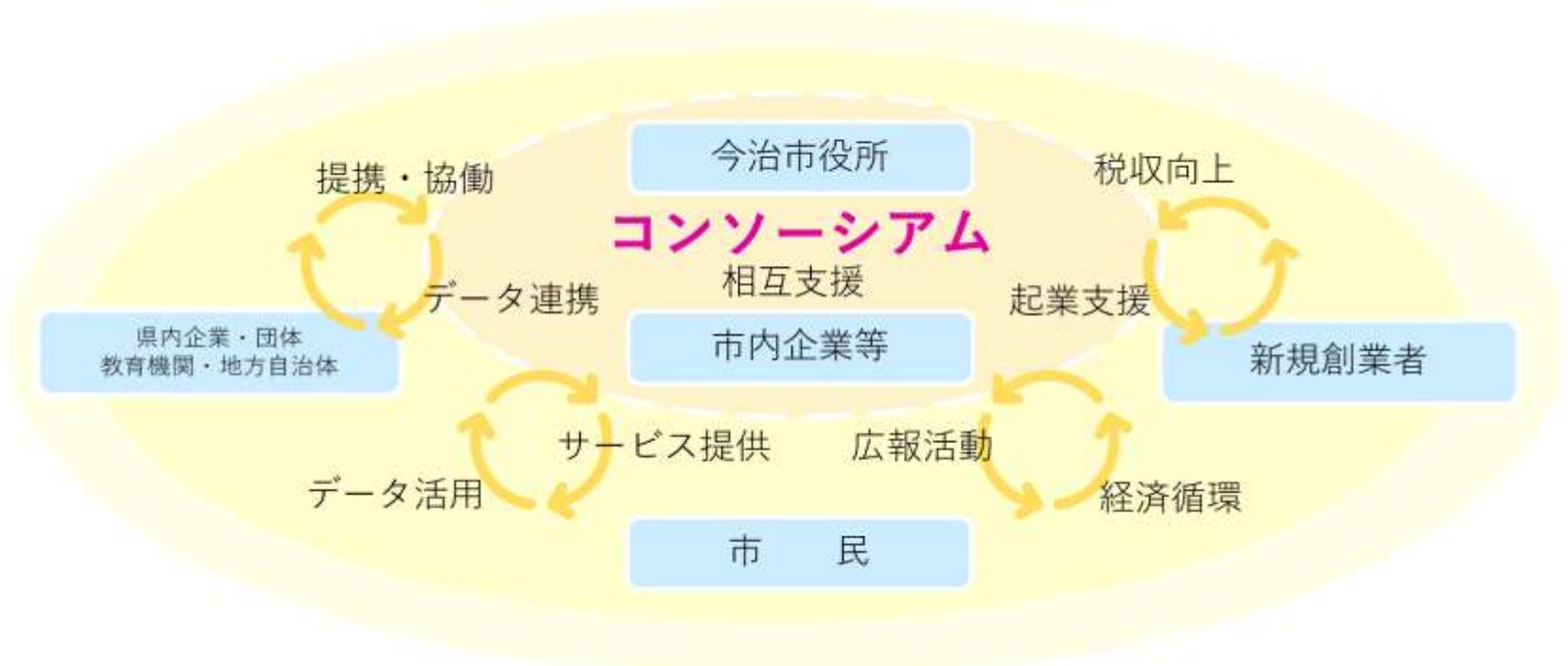
## 活動過程の広報 (プロセスブランディング)

- 経過を見せることで、仲間づくりのスピードを速める



# 来年度に向けて (1/2)

## デジタル未来コンソーシアム



## ソーシャルキャピタル (社会関係資本) の形成



# 来年度に向けて (2/2)

## 今治市デジタル戦略会議イメージ図

### 今治市デジタル戦略会議

サービス提供

税収向上

市民生活

市民

今治市役所

相互支援 経済循環

まちづくり

デジタル未来コンソーシアム

既存企業等

スタートアップコンソーシアム

新規創業者

起業支援・DX支援

広報活動

行政

プロジェクトチーム

提携・協働  
データ連携

県内企業・団体  
教育機関  
県・地方自治体  
など



# 「未来の今治市」=ミライマバリに向けて

## 令和5年度に実装予定の事業等

### まちづくりのDX

- デジタル未来コンソーシアム：（未来デジタル課）8,000千円
- クラウド型監視装置による水管理体系構築：（農業土木課）15,500千円

### 市民生活のDX

- チョイソコ（オンデマンド交通）：（市民が真ん中課）13,000千円

### 行政のDX

- 書かない窓口：（市民課）15,000千円
- 電子申請システム導入：（未来デジタル課）750千円
- 移動市役所（行政MaaS）導入実証：（市民が真ん中課）8,609千円

